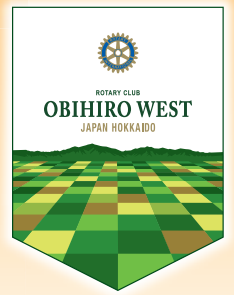




帯広西ロータリークラブ 第2006回例会 2013.7.25 会報



■RI第2500地区テーマ■

讚えよう地域を!クラブを!会員(自分も)を!
ロータリーとの出会いに感謝!



■クラブ・テーマ■

「ロータリークラブに出席し、ロータリーを楽しもう」
(Attend at the Rotary Club, and let's enjoy a rotary)

会長報告

齊藤会長



みなさんこんにちは。今週の日曜日に米山財団のセミナーがあります。出席義務者は私、幹事、エレクト、米山財団の委員長となっています。よろしくおねがいします。

今日は連日の暑さに比べて非常に涼しく過ごしやすいですね。私の診療所は東向きに建てられているので涼しいのですが、患者さんのことを考えてエアコンをいれています。しかし私が休憩室に入ると節電の為、職員がエアコンを切ってしまいます。節電のためとはいえ患者さんにはどうかと思うこのごろです。

また、先日、参議院選挙がありました。自民党の圧勝で世の中の景気が少しでもよくなればと思います。ただ投票率が52.6%と2人に1人しか選挙に行っていないことに若干危惧しているところです。ですが、今年は、帯広大谷高校が甲子園初出場を決め、こちらは大変うれしく思います。ちなみに私の母校は64年間甲子園へ行っていないのでこの大谷高校甲子園初出場はとてもうらやましく思います。

さて、本日で会長を拝命して1カ月が経ちようやく少し落ち着いたところとなりました。活動計画書、ホームページも更新されましたのでみなさんぜひご覧ください。先日たまたま友好クラブである高松RCのホームページを見たところ、今年度の会長の書かれた文章の中に、帯広西RCへの訪問の件について記載されていました。おそらく高松RCのみなさんが大勢来帯することになると思います。具体的なことが判りましたらみなさんにご報告致しますのでその際はよろしくお願いいたします。

以上で会長報告を終わります。

会務報告

奥田幹事

- ・7月26日 帯広北RC 夜間移動例会のご案内
- ・7月30日 帯広東RC 移動例会開催のご案内
- ・帯広東(7月30日)、帯広南(8月12日)、帯広(8月14日)、帯広西(8月15日)、帯広北(8月16日)休会のお知らせ

ニコニコ献金

親睦活動委員会 若林 剛会員

齊藤憲生会員

ちょうど今日で1カ月が過ぎ落ち着いてきました。

川田章博会員

同好会ゴルフコンペで5位。本当に久しぶりに上位入賞しました。

平田利器会員

7月20日(土)嵐山カントリーで行った帯広西ロータリークラブコンペで真ん中賞をゲットしましたありがとうございます。

川上哲平会員

高松の宮杯で45回目のエージ・シュート達成。スコアは75打。

渡部省一会員

20日の同好会ゴルフコンペで飛び賞と馬券が当たりました最終ホールのOBのおかげだと思います。ありがとうございました。

佐藤 聡会員

帯広西ロータリークラブに入会して苦節17年。ゴルフ同好会コンペで念願の初優勝を果たしました。

田中耕吾会員

帯広大谷高校甲子園決めました。息子の時には成し得なかつた夢を実現しました。みなさまのご支援をよろしくお願いいたします。

萱場誠一会員

ゴルフ同好会コンペで準優勝させていただきました。

若林 剛会員

瓜幕小学校よりエコキャップの寄贈を受けました昨日石原副会長に出席頂き感謝状授与式を行いました。

太田 豊会員

本日のプログラム委員会。担当例会よろしくお願いいたします。

◆プログラム

「地域における商工会議所の役割」

卓話：太田 豊 委員長 内容は次のページに掲載。

ニコニコ 献金	7月25日	20,000 円
	累計	85,000 円 (7月25日現在)



会 長 齊藤 憲生
幹 事 奥田 頼昌

副会長 佐藤 聡
副会長 石原 英樹

会場監督理事 横田 幸宏
プログラム委員理事 太田 豊

発行：広報委員会
委員長 北川 勝啓 (副) 森 房明



私ごとですが、ロータリークラブには平成18年に入会させて頂きました。

その前には帯広青年会議所・(JC)という組織



で活動していきまして、平成13年に卒業し、しばらくゆっくりしようと思っておりましたやさきに、今日お話しする商工会議所との出会いがありました。

平成14年度、会社ではまだ専務という立場のとき、帯広で商工会議所青年部・(YEG)の平成16年帯広開催の全国大会準備要員としてJCの先輩に誘われ入会。このJC～YEG～ロータリーへの道は36年会の久保且佳会員・先輩では森会員と同じ道をたどっているところです。翌平成15年、11月に会社の社長に就任し、前任の会議所1号議員であった議員職務も引き継ぐことになってしまい、社長も新米、議員も右も左も分らず当時41歳の最年少でビビりながら青年部でありながら議員にもなってしまったのがはじまりです。

そこで何故今日、商工会議所のお話をさせて頂くのかというと、一つには川田副会長がいる前で大変僥越ですが、議員活動はロータリーの企業活動の基礎としての奉仕の理念と相通じるものがあるということと、調べさせていただきました西クラブのメンバーの皆様約9割の方が帯広会議所に入っておられ、うち現在議員の方が西クラブに8名いらっしゃいます。しかしながら、私も含めて意外とその内容や組織について理解されていなかったり、せっかく入っておられるのに上手く活用されていないのではないかと思います、今日はこの話題についてのお話をさせて頂きます・・・その前に。

本年度のプログラム委員会をご覧の活動方針のもと、本日の話題も含め地元地域の身近な課題を題材に計5回の担当例会を通じて情報を提供したいと考えております。

まず今日の赤文字の例会のあとは11月になりますが北の屋台におきまして、夜間移動例会「プレ忘年会」において帯広の課題についてグループミーティングをして頂く例会を考えております。また、次の2月には明治十勝オーバルで、5月にはばんえい競馬場で移動例会を計画し、何かと帯広市に財政負担をかけている問題だけでなく、それらが地域のもたらす付加価値と文化をどう守らなければいけないかを考える例会を考えております。

そして最後の来年6月には昨年度神田会員のプロジェクト委員会が行ったメークアップ報告例会を考えておりますが、これに関しましては皆様方のご協力なしでは語れませんので、皆様地方へ出張の際には是非、バナーを交換して頂き、隠さず私に報告頂ければ幸いです。

それでは本題に入りますが、世界における会議所の起源ですが、1599年にフランスの港湾都市のマルセイユで設立され、その後ヨーロッパ諸国に拡大されていきましたが、大きく二つに分かれ欧州大陸系商工会議所は公

の法人として商工業者は強制加入させられたようです。

それに対して英米系商工会議所は、任意、非営利法人として商工業者は自由に加入脱退できたようです。

次に日本における会議所の歴史です。鎌倉時代の「座」がそれにあたり、座とは本来は一定の有資格者が一堂に会する場を指し、地縁的結合をもって結成される場合もあり、「里座」・「町座」が形成され、公家や寺社を本所として座役を納め、あるいは奉仕を行い、本所は座の構成員である座衆に身分を与えてこれを保護したようです。そして江戸時代には「株仲間」といった商工業者が結成した独占的な同業組合、カルテルがそれにあたります。その後、明治時代には富国強兵・殖産興業・文明開化を国策とされ海外貿易振興の為、商工業者の機関組織が必要とされ、それまでは世論を結集する代表機関がないことで諸外国から批判を浴びたようです。

そこで明治11年に東京・大阪・神戸に商法会議所が設立されたのがはじまりで、明治35年には商業会議所法が施行され、昭和2年に商工会議所法が交付、そして昭和29年に現在に近い新商工会議所法が施行になりました。

写真は渋沢栄一といって商工会議所の父として幕末から近代日本資本主義の指導者として、東京証券取引所の設立などにも尽力された方の写真です。

ロータリーにもマークが御座いますが、こちらが会議所のロゴマークで、チェンバーオブコマース&インダストリーの頭文字CCIを図案化したものです。

それでは今度は帯広の歴史についてですが、まずは大正10年に帯広実業協会なるものが設立され、大正15年に帯広商工会が設立されました。

この写真は昭和7年の商工会の写真で、西3条南6丁目、現在の商工中金あたりにあった在郷軍人分会会館内に所在しておりました。この写真の下段左から7番目が宮本商産の宮本富次郎さんで、昨日の勝毎に創業110年という大きな広告がでてましたが、現宮本商産の創業者で親子二代に渡って会頭を務められた宮本義雄会長のお父さんの富次郎さんが写っております。

つづいて昭和8年4月に帯広は札幌・函館・旭川・室蘭・小樽・釧路に次いで7番目の町から市となり、昭和14年には商工会から商工会議所になり、北海道商工経済会帯広支部、社団法人帯広商工会議所、そして昭和29年に現在の原型の帯広商工会議所が設立されました。

この写真は昭和34年11月23日に商工会議所前で写されたもので、今でも行われておりますが第6回商工従業員永年勤続表彰記念の写真です。



建物は西4条南9丁目の市営駐車場西側のさかえ公園にありました。この写真の前から2列目に当時の宮坂会頭が写っております。

こちらは歴代会頭のお写真ですが、左上の藤本長蔵さん、今の藤丸社長のひいおじい様になりますが大正10

年の帯広実業協会の
協会長として、次に
大正15年商工会設立
時の宮本富次郎さん、
次に広小路にありま
す伊谷呉服店の伊谷
半三郎さん。そして



次の中島さんは、川田副会頭が学生時代いじめた中島みゆきのおじいさんです。もう一度宮本富次郎さんがトップを務められ、次の宮坂さんは今の宮坂建設工業、寿文社長のおじいさま。次の萩原さんは今の萩原建設さんの一利社長のおじい様です。次は大丸倉庫の小林さん。次の河西さんは当西クラブの智子会員のおじい様です。近年になりましては、宮本義雄会頭、ダイイチの川上会頭で、当時川上会頭の専務理事を二期に渡り務められたのが、西クラブにいらっしゃった小室さんです。次がNC帯広の岩野会頭、そして第25期と現在第26期Myとかち連携と共生をスローガンに掲げられている高橋会頭で、今年10月までの任期があり、今後の去就が注目されるところです。

次に会議所の組織ですが、ご覧のように会頭・副会頭を軸に議員総会・常議員・議員・会員ですべての会員、西クラブの9割の方も職業分類において左側の7つの部会に入っておりますが、議員の方は、右側の6つの委員会にも配属され活動しております。ちなみに私は左側では建設部会ですが、右側の委員会では本業の職業とは関係ない観光文化委員会に配属になっております。

次に帯広商工会議の財源ですが、まず約3500社の会員によるものと、経済センタービルの土地、1.2階の道銀を除く3~5階のビルテナント料が約3,100万円、そして共済制度の他、補助金が6,900万円、これらの財源で運営されております。

こちらは会議所の定款第一条の目的ですが、それをもとに事業活動の三つの柱として建議要望・中小企業、小規模企業の振興と商業、工業、観光業の産業振興が活動の柱となっております。

次に、商工会議所議員は商工業の振興と地域社会の発展に向けた運営をするため、ここが重要ですが、無報酬で事業活動に参画。まさにロータリーと同じく奉仕の精神なくしては出来ない活動ではないでしょうか？

そして議員の定数は85名で1号議員から3号議員に別れておりますが、西クラブにいらっしゃいます5名は1号議員で定数は45名。一応立候補し、会員による選挙で選ばれるとなっておりますが、ここ最近では選挙となっておらず当確がすぐに出てしまいますおなみに1号議員は川田・上垣・河西・谷脇そして太田で以前は河合先生も議員でしたが今は息子さんが入られております。笹井さんと林さんと深澤さんは部会からの専任の2号議員となっております。定数が28名となっております。

もう一度組織図に戻りますが、先ほどもお話しましたが、会員のみなさんは左側赤字の部会に入られているはずですが……

現行の7部会22分科会から右側の8部会に改正され現在定款変更中ではありますが、わかりやすく言うと観光文化部会が観光サービス部会と情報メディア部会に分かれました。

あと3号議員は役員で構成する議員選任委員会で12名の定員で選任されます。

そして現在第26期の任期は本年10月31日までで、第27期は本年11月1日より3年間の任期でこの秋に議員が改選されるところです。

ここからちょっと生々しいお話になります。よくいろんな方にも質問される1号議員の選挙ですがまず、選挙権ですが、会費一口に付き一票の選挙権があるわけですが、だいたい皆さんの企業は二口以上、年間1万円の会費をお願いしていると思いますので、たぶん2票を最低でも持たれていると思います。

そして全ての会員の皆様は議員に選ばれる権利がありますが、立候補するためには最低50口25万円を積まないとはいけませんし、それ以上も本人としてはお金を積みません。また、立候補者が定員の45名を超えない場合は近年のように無投票当選になりますが、仮に選挙になった場合は知り合いの会員の皆様に頭をさげ票を委任していただく票集めをするか、場合によってはお金を積んで関連会社や知り合いの会社の会費口数を多くして票を積み上げることになり、会議所の収益も上がるということです。

次に2号議員ですが、当クラブでは先ほど申し上げた3名の方が、いらっしゃいますが、定員が28人で会費100口50万円で1号議員の2倍の金額となり、皆さんも入られている8つの部会総会ごと選任され、選挙はございません。

そして3号議員においては定員が12名、会費は150口の年間75万円で議員選任委員会で選任されます。(日甜・勝毎・道銀・信金・NTT・日通・市場・ダイイチ・宮本・日専連・藤丸・萩原)

次に役員ですが、会頭は議員総会で会員から選任。副会頭は第26期については高橋会頭が藤本・川田・曾我・野村さんに選任。また専務理事についても会頭が選任します。その他の役員としては常議員は議員から監事は会員から選任となります。

また、生々しい話ですが、1号から3号議員の会費の他さらに役員は会頭の年間60万円をかわきりにご覧の負担金を払いながら地域の商工業発展の為に尽力をされております。

また、先ほどらしいの組織図をご覧になっていただき、今度は議員が配属になり活動している委員会についてご説明させていただきます。

委員会には赤い字の総務から経営開発までの6つの委員会に全議員は配属されます。基本的には議員改選後に1次希望2次希望の委員会のアンケートをとって概ねどちらかの委員会に配属されますが私と谷脇会員の場合は何かの力が働いて観光文化委員会に配属されました。そして今期の特別委員会として産業政策策定委員会が設置さ

れ、各委員会から数名出向する形で運営されております。

それでは各委員会の活動について簡単に説明させていただきますが、まず総務会員委員会。

委員長は南RC、大昭電気の出村社長で担当は曾我副会頭です。ご覧の所管審議事項の他、主な事業として会員増強運動に取り組んでおり現在3500社を割り込んだ企業数を4000社を目標に活動されております。

次は地域開発委員会で委員長は西江建設 西江社長で担当は野村副会頭です。ご覧の事項の他、最近話題のLCC(ローコストキャリア)の問題やスマートインターチェンジの設置運動などの活動をされております。

次は商業委員会で委員長は帯広RC・奥原商会の奥原社長で担当は藤本副会頭です。ご覧の他中心市街地活性化・年末全市連合大売出し・商店街花いっぱい運動などの活動に取り組んでおります。

次は工業委員会ですが委員長は女性の田沢建設興業 田沢副社長で担当は藤本副会頭で、元根室市議会議員を務められていたそうです。地場工業育成振興並びに都市型工業の育成振興として6次産業化や国内外の販路開拓やエネルギー問題に取り組まれております。

次に経営開発委員会の委員長は東RC在籍で十勝信用組合の高橋理事長で担当は川田副会頭であります。ご覧の事項の他、中小企業金融円滑化法の終了後の金融円滑化や企業のメンタルヘルスについて取り組まれております。

次はいよいよ観光文化委員会で委員長は西RCの私太田で、ちなみに副委員長は谷協会員と帯広RCの讃岐会員にさせていただいており、担当はもちろん川田副会頭で日夜ロータリーでも会議所でもこの3年間はかなり濃い関係を築かせていただいております。また同じ委員会には当クラブの笹井会員もおりある意味大変心強く思っております。所管事業はご覧のとおりですが、かなりイベント屋に近いもあります。

主だった今期の事業としてはまず一つ目は食観光の推進ということで「とかちマルシェの開催」です。こちらは昨年第二回目の様子ですが、十勝の玄関口帯広駅前、管内外の観光客に十勝の食をピーアールし、帯広駅前の賑わいの創出を目的に開催いたしました。今年も8月31日9月1日の土日に開催いたしますので、みなさんご家族づれで遊びに来てください。また、31日土曜日の夜にはナイトマルシェではジャズをバックにご当地カクテルグランプリも開催します。審査員にはソムリエの中川会員にもおもしろいと思っております。とにかく十勝の食材にこだわったメニューでここ北海道ホテルやノースランドをはじめ多くの出店者がすべてワンコイン500円以内でおしさ・楽しさ・おしゃれさをコンセプトに開催します。また、新ご当地グルメグランプリの別海よりジャンボホタテバーガーやオホーツク北見塩焼きそばも特別出店予定です。川田会員が実行委員会会長、私が実行委員長、谷協会員が副実行委員長笹井会員もおまちしておりますので宜しくお願いいたします。

次はとかちばん馬まつりの運営ですが、これは歴史あ

る馬文化を守り世界で一つしかない地域資源である「ばん馬」の継続的振興を図る為に開催します。こちらは去年の様子ですが、今年も第7回目になりますが10月5・6と開催致します。人間ばんばにおいてはチャンピオンシップにおいてはたぶん今年も柳沢会員のチームが優勝を狙って出場してくれると思いますので皆さんもぜひ応援に駆け付けて頂きたいと思ひますし、越智会員もスタッフとして張り付いておりますので、よろしくお願ひいたします。

その他の事業としては富良野地域との観光や物産交流をメインとした広域連携の交流促進の合意締結や・・・高速交通網の早期整備や新しい観光ルートの構築と両地域振興における共通課題の解決を目的に日高東部地区との連携推進協議会を設立。

次はとかち検定でご当地検定として、十勝の自然・歴史や産業・文化・スポーツなど幅広い分野からの出題をした上級と一般の2部門の検定の実施により、ボランティアとしてのライフコンシェルジュや十勝を訪れた人へのホスピタリティを高める一助となっております。

こちらは一昨年度内で唯一観光学部をもっている札幌国際大学と観光をテーマに連携協定を締結し、十勝ファンづくりの手法として大学の講座に「十勝学講座」を開講して頂き講師の派遣やフィールドワークとして60名ほどの学生も帯広に来ていただき実習も行っております。

以上が川田副会頭の下私が担当しています委員会の今期の事業の一部です。

次はこれもよく聞かれることですが、商工会議所と商工会の違いですが、まず、根拠となる法律が違います。監督官庁は同じ経産省ですが、会議所は経済産業政策局で商工会は中小企業庁です。わかりやすいところでは、会議所は市の区域で、商工会は町村の区域が似て非なるものです。

こちらは道内の会議所と商工会で上が市で下が町村ですが、市町村合併により一つの市で赤字のように会議所と商工会がある二重構造の市もあります。道内では会議所は42あります。

ではなにが会議所に入ってお得かと言いますと、特に私が思う部分では赤字の部分ですが、まず一点目は地域振興に参画できることと、皆さんの企業にも若い方がいらっしゃれば、JCもそうですが、是非青年部YEGに入会させて頂き、街づくりや若いうちの人脈づくりに幹部候補生を入れていただくと、メリットがあると思ひます。またご案内をしておりますが、各種講習会や新入社員も含めた講習会など格安で受講できたり特定退職金制度も当社も加入しております。

終わりになりますが、会議所議員活動も10年、ロータリーはまだ10年たっていませんが、どちらにいたしましても感じるのは本業を通して職業奉仕や社会奉仕することが地域の活性化に繋がればと思ひながらきっと何か得るものがあると信じ、今日のお話を終わりたいと思ひます。

ご清聴ありがとうございました。